dentsu
株式会社 電通九州
統轄局　総務人事部

NEWS RELEASE

2016 年 2 月 8 日

電通九州、全国女性 1 万人規模で「通信販売利用実態調査」を実施、「疲れが抜けない」、「女性特有のお悩み」は微増傾向に。注目のあの成分もスコアが急上昇！

株式会社電通九州（堀宏明社長、本社・福岡市、資本金 4 億円）ダイレクトマーケティング部では、通信販売の消費購買・意識に関する大規模調査「通信販売利用実態 女性 1 万人調査」を実施いたしました。本調査では、過去 3 年以内に通販利用経験のある 30 歳以上の女性約 1 万人を対象に、健康やスキンケアに関するお悩みの実態と対策の状況、各原料・成分に関する認知・理解状況、商品・企業ブランドに関する認知・好意度などを調査いたしました。

大規模サンプル調査ですので都道府県単位での消費実態や意識を比較することが可能です。通信販売の健康食品や化粧品など、異なるカテゴリー間の購買の関連性の分析、商品開発の原料成分を検討する上で参考となるこれからの注目成分などの把握することなども重視いたしました。

以下、調査で得られた主なファインディングスをご紹介いたします。

調査から得られたファインディングス

【前年対比から見る通販市場トレンド 2016】

・“お疲れ様”日本。頑張る日本人は疲労感が拡大傾向。

健康面での悩みは、昨年と比べ「疲れが抜けない」「足がむくむ」「寝つきが悪い」など疲労に関するお悩みスコアが上昇傾向にある。

・“ミドリムシ”サプリ急上昇！

今後注目している健康食品の成分は「ビタミン C」「コラーゲン」「乳酸菌」が上位にランクインするが、前年対比で見ると「ミドリムシ」が 163%と急上昇。その他、「エラスチン」や「リコピン」も上昇中。

・女性にとって髪は“命”。ヘアケア市場の拡大可能性？

美容面での悩みは、昨年と比べ「薄毛」「髪のパサつき」などがスコア上昇していることが判明。

【都道府県ごとに見る通販日本地図 2016】

・最も健康に気を遣っているのは「山口県」！？美容の流行はやはり「東京都」から。

健康食品の月額購入金額は「山口県」が 4,472 円で 1 位。最下位は「栃木県」の 2,569 円。
化粧品の月額購入金額は「東京都」が全国で唯一の 5,000 円台と圧倒的な強さを見せつけた。

・「福島県」「宮崎県」「富山県」は通販での衝動買いが多い！？

通販での衝動買いが多いと回答した上位 3 県は、「今なら●●割引」などのお得な言葉にも弱い。
対して、衝動買いが少なかったのが「東京都」、「福岡県」、「山形県」、「京都府」。

【通信販売利用実態　女性１万人調査】

〈調査概要〉

■調査地域：　全国 47 都道府県

■調査手法：　インターネット調査

■調査対象者：　過去 3 年以内に通販利用経験のある 30 歳以上の女性

■サンプル設定：　n＝10,380

割付

	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
30代	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57
40代	65	57	57	57	57	57	57	57	59	57	57	57	57	57
50代	76	57	58	78	62	59	57	57	67	59	59	59	59	59
60代	57	27	24	57	24	26	37	57	37	36	86	86	88	86
70代以上	42							52						

	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
30代	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57
40代	57	68	58	57	57	57	62	68	57	57	57	57	57	57	57	57
50代	83	60	57	52	37	62	58	58	58	73	62	57	57	62	62	62
60代	40	19	33	17	20	46	41	57	64	52	41	70	76	65	58	23
70代以上	46									42						

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
30代	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57
40代	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	63	57	57	57	57	57	71
50代	34	37	70	57	57	53	57	73	49	57	34	62	62	51	52	57	43
60代	19	10	45	60	36	20	21	39	9	74	15	34	43	28	19	30	9
70代以上	42									48							

※各都道府県の年代ごとに 50s 回収を目標に回収を行ったが（70 代以上はエリアごとに 50s）、
　不足したセルが出たため他のセルで補填を行った。

■質問項目：

１．健康食品について
(健康面における懸念点・改善必要度、健康食品利用意向、商品購入時の重視点など)

２．スキンケア・化粧品について
(美容面における懸念点・改善必要度、商品購入チャネル、商品購入時の重視点など)

３．その他商品について
(ヘアケア商品の認知利用、ミネラルウォーターの認知利用、食品月額購入金額など)

４．通信販売に関する意識・行動
(通販利用時の買い物意識・行動、同じ通販会社での別商品購入経験など)

５．トクホ・機能性表示食品制度について
(トクホ・機能性表示食品制度の認知、印象など)

■実施時期：　2015 年 8 月

[このリリースの内容・取材に関する問い合わせ先]
株式会社電通九州
コミュニケーションプランニング局ダイレクトマーケティング部　庄野・武冨まで　TEL 092(713)2884
〒810-8675　福岡市中央区赤坂 1-16-10

《第一章　通信販売市場のトレンド 2016》

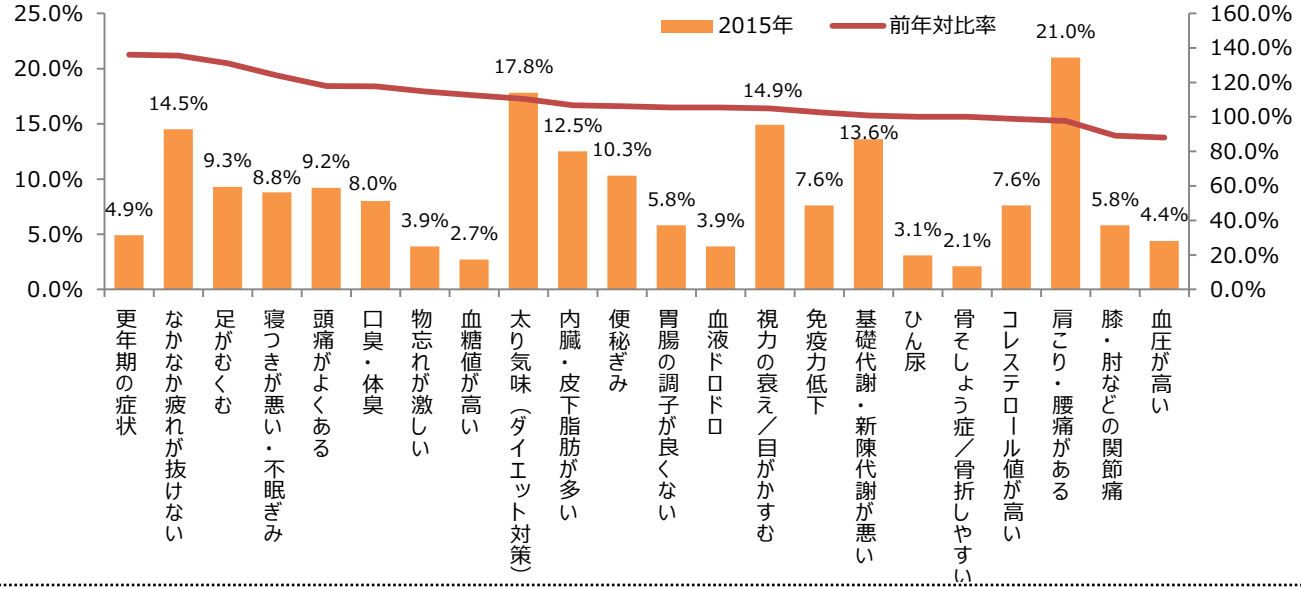
健康食品、スキンケアに関する消費行動、意識傾向について、経年変化や年代傾向などを中心にピックアップ。

Q：日頃の健康についてのお悩みについて

■健康に関するお悩みの内容は？

“お疲れ様”日本。
疲労感や足のむくみなど、お悩みスコア上昇中！

前年との対比率でみた場合
1 位：更年期の症状(136. 1%)　2 位：なかなか疲れが抜けない(135. 5%)　3 位：足がむくむ(131. 0%)
4 位：寝つきが悪い・不眠ぎみ(123. 9%)　5 位：頭痛がよくある(117. 9%)
など疲労に関連するお悩みが上位を占め、疲労感が引き続き拡大傾向にあることが窺える。



■それぞれのお悩みについての対策方法は？　（各お悩みに対して“改善したい”との回答者に質問）

“物忘れは病院へ”？
“血液ドロドロは市販の薬を服用”“頻尿はサプリを”各チャネルごとにピンポイントで特徴。

(%)	病院へ行く		市販の薬を使う		健康食品・サプリメントを買う	
	スコア	対前年比率	スコア	対前年比率	スコア	対前年比率
なかなか疲れが抜けない	2.3%	153.3%	3.5%	85.4%	15.0%	103.4%
胃腸の調子が良くない	13.7%	98.6%	23.9%	93.7%	5.0%	147.1%
肩こり・腰痛がある	11.0%	112.2%	18.2%	105.8%	4.0%	114.3%
口臭・体臭	2.0%	153.8%	5.9%	105.4%	5.3%	101.9%
寝つきが悪い・不眠ぎみ	14.1%	100.7%	2.1%	123.5%	3.9%	134.5%
ひん尿	4.8%	126.3%	1.9%	146.2%	2.9%	223.1%
内臓・皮下脂肪が多い	1.8%	128.6%	1.0%	111.1%	7.0%	118.6%
物忘れが激しい	1.7%	340.0%	0.4%	133.3%	4.2%	127.3%
血糖値が高い	13.3%	104.7%	0.8%	133.3%	5.0%	128.2%
コレステロール値が高い	17.9%	108.5%	0.8%	133.3%	5.7%	111.8%
血液ドロドロ	5.4%	112.5%	0.8%	266.7%	8.7%	116.0%
骨そしょう症／骨が折れやすい	10.5%	106.1%	0.9%	90.0%	10.6%	102.9%
血圧が高い	31.9%	89.4%	1.0%	142.9%	5.1%	141.7%
頭痛がよくある	12.7%	107.6%	48.8%	105.6%	2.4%	160.0%
便秘ぎみ	7.4%	104.2%	18.2%	99.5%	12.3%	124.2%
足がむくむ	2.6%	136.8%	1.6%	133.3%	4.1%	132.3%
太り気味（ダイエット対策）	0.8%	133.3%	1.2%	150.0%	10.8%	111.3%
視力の衰え／目がかすむ	8.5%	100.0%	10.1%	109.8%	13.1%	103.1%
更年期の症状があらわれている（発汗、ほてりなど）	7.6%	90.5%	4.8%	90.6%	8.7%	120.8%
免疫力が落ちている・抵抗力が低い	3.2%	133.3%	1.4%	127.3%	13.0%	109.2%
基礎代謝・新陳代謝が悪い	1.1%	157.1%	0.9%	180.0%	8.0%	108.1%
膝・肘などの関節痛	13.9%	106.9%	11.2%	106.7%	9.9%	93.4%

■健康に関するお悩みの内容は？（年代別）

若い人ほど“凝っている”！
50 代以降は“視力の衰え”が顕著に、60 代以降は“コレステロール”が気になる。

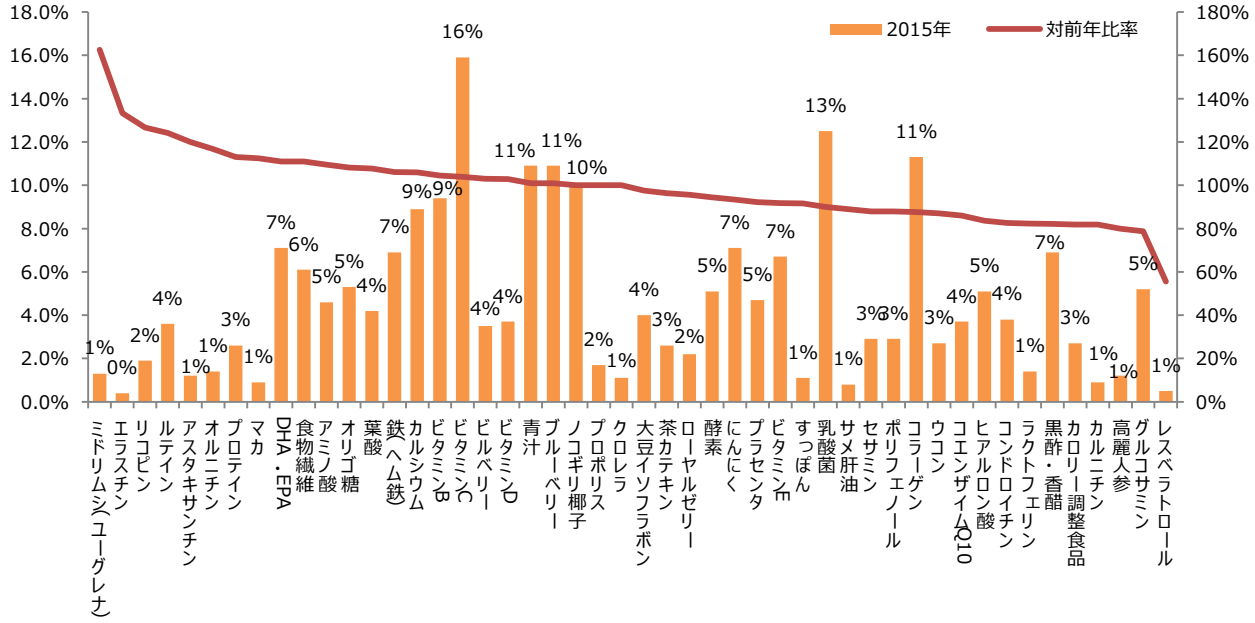
(%)	30代		40代		50代		60代		70代以上	
1位	肩こり・腰痛がある	24.7	肩こり・腰痛がある	23.2	肩こり・腰痛がある	20.1	肩こり・腰痛がある	15.1	肩こり・腰痛がある	14.7
2位	太り気味(ダイエット対策)	23.7	しみ・そばかす	22.8	視力の衰え／目がかすむ	19.7	視力の衰え／目がかすむ	12.8	視力の衰え／目がかすむ	12.9
3位	しみ・そばかす	22.4	太り気味(ダイエット対策)	20.4	しみ・そばかす	17.3	コレステロール値が高い	9.9	コレステロール値が高い	12.8

Q：健康食品の原料や成分で注目している、あるいは関心がある成分について

■摂取している健康食品の原料や成分は？　（全体傾向）

“ミドリムシ”サプリ急上昇！

前年との対比率でみた場合
1 位：ミドリムシ(163%)　　2 位：エラスチン(133%)　　3 位：リコピン(127%)
4 位：ルテイン(124%)　　5 位：アスタキサンチン(120%)
などが注目されており、通信販売各社が商品開発に注力する成分となっている。



■摂取している健康食品の原料や成分は？　（年代別の傾向）

中高年齢層は“ブルーベリー”と“乳酸菌”好き。
40～50 代は“ビタミン C”“コラーゲン”が上位に食い込む。

	30代		40代		50代		60代		70代以上	
1位	ビタミンC	15.6%	ビタミンC	15.4%	ビタミンC	17.1%	ブルーベリー	17.2%	乳酸菌	24.6%
2位	乳酸菌	11.6%	コラーゲン	11.3%	コラーゲン	12.3%	乳酸菌	16.3%	ブルーベリー	20.2%
3位	鉄(ヘム鉄)	10.8%	ビタミンB	10.3%	ブルーベリー	12.0%	ビタミンC	15.0%	にんにく	19.1%
4位	葉酸	9.5%	乳酸菌	10.0%	乳酸菌	11.8%	コラーゲン	13.0%	ビタミンC	17.3%
5位	ビタミンB	9.1%	青汁	8.9%	青汁	11.4%	青汁	12.6%	黒酢・香醋	15.4%

【健康対策別の健康食品の原料や成分の想起について】
Q「＊＊＊」に効果のある健康食品の原料や成分と言えば？
純粋に想起されるもの（自由回答）をランキング化（2011 年と 2015 年のランキング比較）

	アンチエイジング		関節痛対策		更年期対策		滋養強壮	
	2015年	2011年	2015年	2011年	2015年	2011年	2015年	2011年
1位	コラーゲン	コラーゲン	グルコサミン	コンドロイチン	イソフラボン	イソフラボン	にんにくエキス	にんにくエキス
2位	プラセンタ	コエンザイムQ10	コンドロイチン	グルコサミン	銘柄C	銘柄C	マカ	タウリン
3位	コエンザイムQ10	ヒアルロン酸	ヒアルロン酸	ヒアルロン酸	プラセンタ	ザクロエキス	すっぽんエキス	ビタミンB
4位	ヒアルロン酸	ﾋｱﾙﾛﾝ酸ｺﾗｰｹﾞﾝ	コラーゲン	コラーゲン	ローヤルゼリー	ローヤルゼリー	高麗人参	マカ
5位	アスタキサンチン	プラセンタ	カルシウム	銘柄B	コラーゲン	ビタミンE	タウリン	高麗人参
6位	セサミン	セサミン	セサミン	サメ軟骨	大豆エキス	(女性)ホルモン	銘柄D	ローヤルゼリー
7位	ポリフェノール	ビタミンE	サメ軟骨	サメエキス・鮫油	ビタミンE	エストロゲン	ローヤルゼリー	銘柄D
8位	ローヤルゼリー	ローヤルゼリー	軟骨	カルシウム	(女性)ホルモン	コラーゲン	ビタミン類	ビタミン類
9位	ビタミンE	アスタキサンチン	銘柄A	銘柄A	ザクロエキス	プラセンタ	ウコンエキス	アミノ酸
10位	ビタミンC	ビタミンC	プロテオグリカン	コエンザイムQ10	ビタミン類	マカ	ビタミンB	オルニチン

	アイケア		ダイエット		免疫力向上	
	2015年	2011年	2015年	2011年	2015年	2011年
1位	ブルーベリー	ブルーベリー	食物繊維	カルニチン	乳酸菌	プロポリス
2位	アントシアニン	アントシアニン	カルニチン	カプサイシン	プロポリス	ビタミン類
3位	ビルベリー	ビルベリー	酵素	黒酢	ビタミン類	にんにく
4位	ルテイン	ルテイン	こんにゃく	アミノ酸	にんにく	ビタミンC
5位	ポリフェノール	ビタミンA	カプサイシン	ギムネマ	ビタミンC	ローヤルゼリー
6位	ビタミンA	ポリフェノール	ラクトフェリン	キトサン	酵素	アガリクス
7位	ビタミンE	ポイセンベリー	アミノ酸	αリポ酸	フコイダン	エキナセア
8位	ビタミン類	カシス	プロテイン	こんにゃく	ポリフェノール	セサミン
9位	銘柄E	めぐすりの木	銘柄F	プロテイン	アミノ酸	キノコ
10位	ベリー類	ビタミン類	生姜	食物繊維	DHA	黒酢

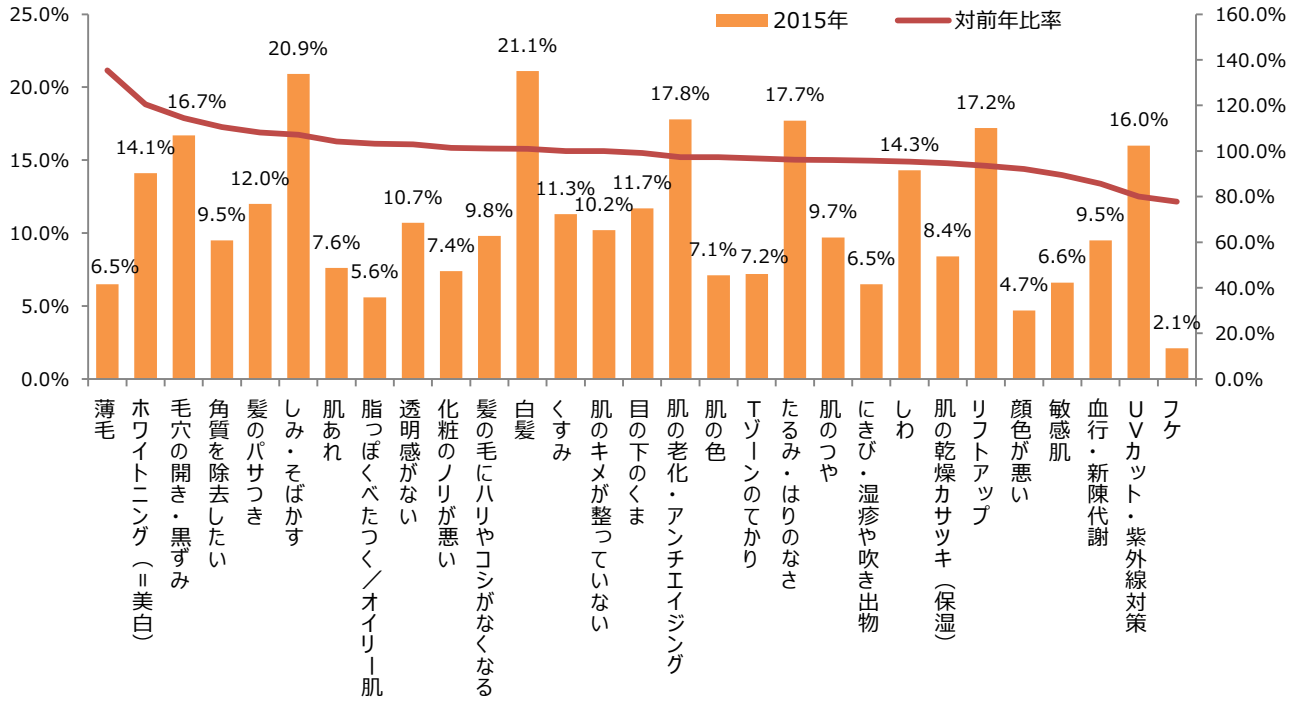
2011 年との比較
・アンチエイジングに関しては、プラセンタが 2 位にランクされた。
　コエンザイム Q10 やヒアルロン酸はランキングを下げ、アスタキサンチンが 5 位に食い込んだ。
・関節痛対策については、グルコサミンとコンドロイチンが逆転した。
・更年期対策については、ザクロエキスがランクダウンし、替わりにプラセンタが 3 位に食い込んだ。
・滋養強壮については、マカが 2 位に食い込んだ。またすっぽんエキスが 3 位にランクインするなど販促成果とみられる純粋想起のスコアが上昇している。
・アイケアについては、上位についてはほぼ変動はない。
・ダイエットについては、食物繊維がゴボウ抜きの 1 位を獲得。酵素もランク外から 3 位に食い込むなど変動の激しい市場環境であることが窺える。
・免疫力向上については、乳酸菌がランク外から突如 1 位に。あとは酵素もランク外から 6 位にランクインした。

Q：日頃のスキンケア、ヘアケアについてのお悩みの状況について

■前年対比の傾向

ヘアケア、美白関連がスコア上昇中。

前年との対比率でみた場合
1位：薄毛(135.4%)　2位：ホワイトニング（＝美白）(120.5%)　3位：毛穴の開き・黒ずみ(114.4%)
4位：角質を除去したい(110.5%)　5位：髪のパサつき(108.1%)と続き、ヘアケアに関するお悩みが上位を占め、今後の市場拡大の可能性が窺える。



■年代別の傾向

女性にとって髪は“命”。40代以上女性のお悩み関心事のトップは、白髪対策。
30代は1位:毛穴の開き・黒ずみ　2位：しみ・そばかす　40代は1位:白髪　2位：しみ・そばかす
50代以降は、1位:白髪　2位：たるみ・はりのなさ　が2大関心事となっている。

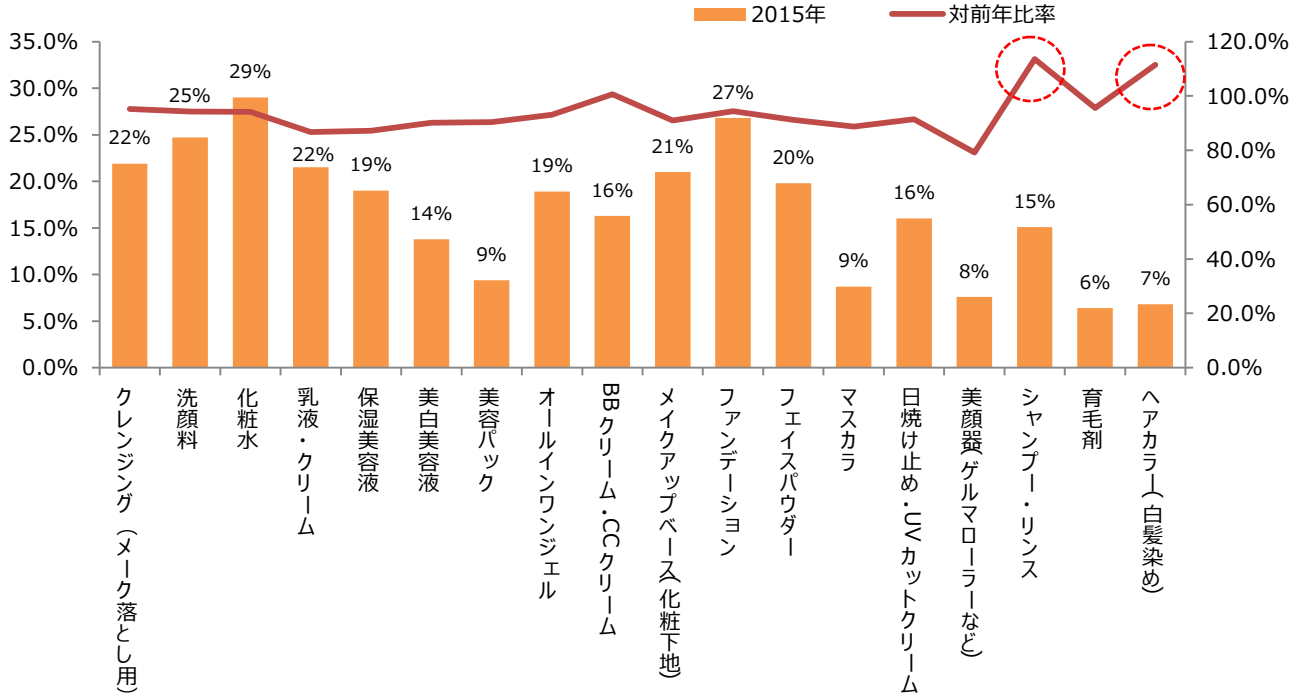
(%)	30代		40代		50代		60代		70代以上	
1位	毛穴の開き・黒ずみ	30.1	白髪	26.2	白髪	26.1	白髪	16.8	白髪	14.0
2位	しみ・そばかす	25.9	しみ・そばかす	25.9	たるみ・はりのなさ	20.7	たるみ・はりのなさ	13.1	たるみ・はりのなさ	8.5
3位	ＵＶカット・紫外線対策	22.3	肌の老化・アンチエイジング	21.6	しみ・そばかす	19.6	肌の老化・アンチエイジング	12.2	しみ・そばかす	8.5
4位	ホワイトニング（＝美白）	19.8	たるみ・はりのなさ	20.8	リフトアップ	19.3	リフトアップ	11.3	ＵＶカット・紫外線対策	8.5
5位	肌の老化・アンチエイジング	18.0	リフトアップ	20.7	肌の老化・アンチエイジング	18.9	しわ	11.0	肌の老化・アンチエイジング	7.4

Q：スキンケア・アイテムの利用状況について
通販での各化粧品アイテムの購入率

■前年対比の傾向
EC を除く通販での各化粧品アイテムの購入率

美顔器関連の通販購入率は大幅に退行し、シャンプー・リンスや
ヘアカラーなど髪の毛関連商材での購入率が増加傾向に。その他は横ばいか減少傾向に。

前年との対比率でみた場合、
1 位：シャンプー・リンス(113.5%)　　2 位：ヘアカラー(白髪染め)(111.5%)だが、それ以外は
前年比で同等か前年比減となっている。



■年代別の傾向　各種化粧品アイテムの購入率（①EC を除く通販　②EC 通販）
やはり高齢者ほど通販(EC を除く)利用率が高く、若年層では EC での購入率が高い。
通販の場合、洗顔料から化粧水、乳液ｸﾘｰﾑ、美容液にいたるベーススキンケアアイテムでの 60 代以上での購入率が高い。また EC については、30 代から 50 代にかけて購入率にさほどの差異がなく、EC でのショッピングが中年層にも浸透しつつある傾向が窺える。

通販【ECを除く】	ｸﾚﾝｼﾞﾝｸﾞ(ﾒｰｸ落し)	洗顔料	化粧水	乳液・クリーム	保湿美容液	美白美容液	美容パック	オールインワンジェル	BBｸﾘｰﾑ・CCｸﾘｰﾑ	ﾒｲｸｱｯﾌﾟベース	ファンデーション	ﾌｪｲｽﾊﾟｳﾀﾞｰ
全体	4.8%	5.7%	***6.7%***	5.1%	4.5%	3.4%	2.3%	4.1%	3.4%	4.9%	6.2%	4.1%
30代	4.6%	4.7%	5.6%	4.1%	3.2%	2.7%	1.8%	2.8%	2.3%	4.4%	5.2%	3.2%
40代	4.7%	4.9%	5.9%	4.3%	3.7%	3.6%	2.1%	4.4%	3.5%	4.4%	5.8%	4.0%
50代	4.4%	5.6%	6.4%	4.9%	4.7%	3.4%	2.0%	4.0%	3.6%	4.8%	6.5%	4.1%
60代	5.6%	***7.6%***	***9.0%***	***7.1%***	6.5%	3.9%	3.3%	5.4%	4.4%	6.2%	***7.4%***	5.5%
70代以上	5.1%	***9.2%***	***10.7%***	***10.7%***	***7.4%***	5.5%	4.4%	***6.6%***	4.0%	5.9%	6.3%	5.1%

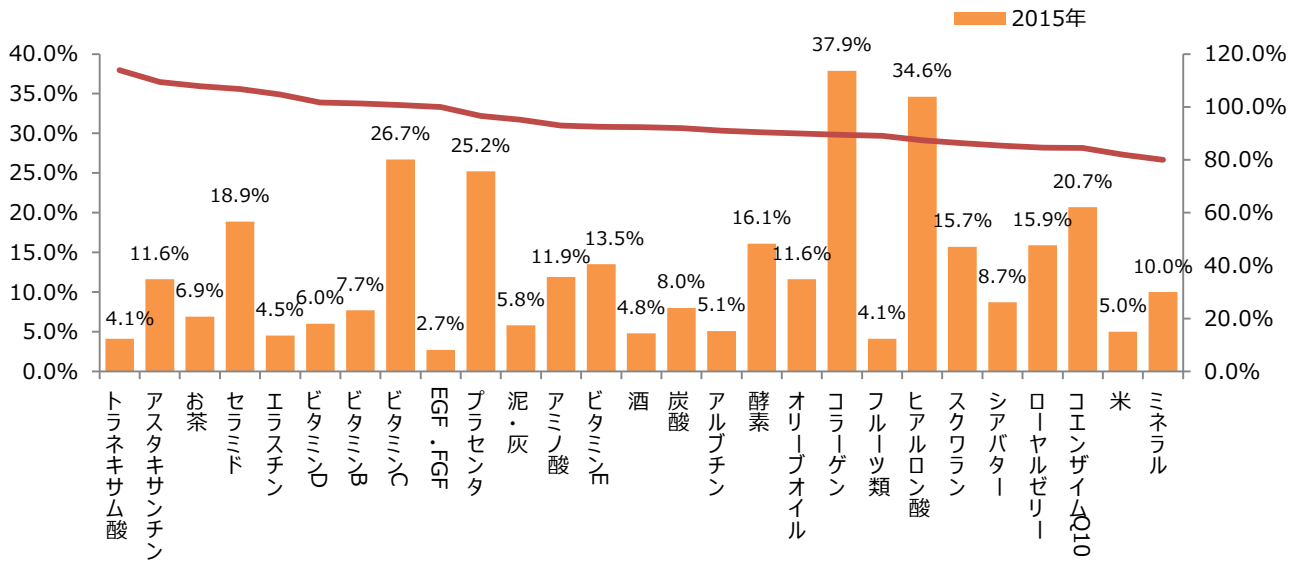
EC通販	ｸﾚﾝｼﾞﾝｸﾞ(ﾒｰｸ落し)	洗顔料	化粧水	乳液・クリーム	保湿美容液	美白美容液	美容パック	オールインワンジェル	BBｸﾘｰﾑ・CCｸﾘｰﾑ	ﾒｲｸｱｯﾌﾟベース	ファンデーション	ﾌｪｲｽﾊﾟｳﾀﾞｰ
全体	17.1%	19.0%	***22.3%***	16.4%	14.5%	10.4%	7.1%	14.8%	12.9%	16.1%	***20.6%***	15.7%
30代	13.8%	13.9%	17.4%	12.9%	10.3%	8.4%	5.9%	8.6%	9.2%	13.1%	15.6%	11.8%
40代	18.7%	19.3%	***23.6%***	16.9%	14.1%	10.9%	7.9%	15.1%	12.8%	17.1%	***21.9%***	16.4%
50代	***20.1%***	***23.0%***	***26.8%***	18.3%	17.8%	13.0%	8.3%	19.1%	16.7%	19.1%	***25.3%***	18.8%
60代	16.0%	***20.3%***	***21.7%***	18.1%	16.3%	9.2%	6.3%	16.9%	13.3%	15.1%	19.7%	15.9%
70代以上	10.7%	14.7%	16.2%	12.9%	14.0%	8.1%	3.3%	15.8%	11.0%	11.8%	13.6%	12.9%

Q：化粧品・スキンケア商品の原料や成分として興味のあるもの／注目しているもの

■前年対比の傾向

美白関連成分、抗酸化成分のスコアが上昇。

前年との対比率でみた場合
1 位：トラネキサム酸(113.9%%)　2 位：アスタキサンチン(109.4%%)　3 位：お茶(107.8%)
4 位：セラミド(106.8%)　5 位：エラスチン(104.7%)と続く。美白成分であるトラネキサム酸や抗酸化成分であるアスタキサンチンなど注目成分のスコア上昇から、今後の市場拡大の可能性が窺える。



■年代別の傾向

最新（2015 年）の注目率スコアでみた場合、全世代でコラーゲン、ヒアルロン酸が他を圧倒する注目率となっている。それに準じて、ビタミン C やプラセンタが続く。また 60 代以降の高齢者においては、ローヤルゼリーの注目率が高い結果となった。

	30代		40代		50代		60代		70代以上	
1位	コラーゲン	37.1%	コラーゲン	38.3%	コラーゲン	37.8%	コラーゲン	38.6%	コラーゲン	37.9%
2位	ヒアルロン酸	35.0%	ヒアルロン酸	33.8%	ヒアルロン酸	35.7%	ヒアルロン酸	33.3%	ヒアルロン酸	36.8%
3位	ビタミンC	30.2%	プラセンタ	26.0%	プラセンタ	26.5%	ビタミンC	25.3%	ビタミンC	27.6%
4位	プラセンタ	25.2%	ビタミンC	25.9%	ビタミンC	25.0%	プラセンタ	22.8%	プラセンタ	21.3%
5位	ｺｴﾝｻﾞｲﾑQ10	22.4%	セラミド	21.3%	セラミド	21.0%	ローヤルゼリー	18.9%	ローヤルゼリー	20.6%

《第二章　通販日本地図》
各項目における都道府県ごとの傾向をピックアップ。

【健康食品　月額購入金額】

最も健康に気を遣っているのは「山口県」！？
健康食品の月額購入金額は平均 4,472 円。
最下位の「栃木県」(平均 2,569 円)と比較すると、その差は実に約 2,000 円。

・健康食品に最もお金をかけている県は、第 1 位：山口県(4,472 円)、第 2 位：群馬県(4,435 円)、第 3 位：岐阜県(4,222 円)、第 4 位：福岡県(4,142 円)という結果に。
逆に、お金をかけていない県は、第 1 位：栃木県(2,569 円)、第 2 位：山梨県(2,679 円)、第 3 位：秋田県(2,866 円)、第 4 位：静岡県(2,948 円)、第 5 位：富山県(2,954 円)。

・健康食品にお金をかけている県とかけていない県では、お金をかけていない県の方が健康面における悩み度が高い傾向にあり、山梨県では「冷え症(16.8%)」が悩み度全国 1 位、「肌あれ(13.3%)」全国 2 位、「視力の衰え(20.2%)」全国 3 位。
秋田県では「疲れが抜けない(23.2%)」全国 1 位、「内臓・皮下脂肪が多い(17.2%)」全国 3 位。
富山県では「肌の乾燥(11.2%)」全国 3 位、「便秘ぎみ(14.6%)」全国 2 位。

※各症状に対し「気になっており、すぐにでも改善したい」と回答したスコア。

【スキンケア商品・化粧品　月額購入金額】

美容の流行は「東京都」から！
スキンケア商品・化粧品の購入金額は平均 5,092 円と、全国で唯一の 5,000 円台。
「上州のからっ風」？「群馬県」は美容に関する悩み度が高い分、化粧品にお金をかける。

・スキンケア商品や化粧品に最もお金をかけている都道府県は、第 1 位：東京都(5,092 円)、第 2 位：群馬県(4,699 円)、第 3 位：和歌山県(4,693 円)、第 4 位：岐阜県(4,658 円)。
逆に、お金をかけていない県は、第 1 位：大分県(3,206 円)、第 2 位：熊本県(3,251 円)、第 3 位：新潟県(3,287 円)、第 4 位：北海道(3,289 円)。

・購入金額全国第 2 位の群馬県は「しみ・そばかす(26.8%)」が悩み度全国 2 位、「肌の老化(23.0%)」全国 3 位、「美白(20.1%)」全国 2 位、「髪のパサつき(19.1%)」全国 1 位、「白髪(28.7%)」全国 3 位と、肌だけでなく髪に関する悩み度も高いことがわかった。

※各症状に対し「気になっており、すぐにでも改善したい」と回答したスコア。

【購入しているスキンケア商品・化粧品】

スキンケアは洗顔や化粧水だけじゃない！
保湿重視の「山梨県」と美容液信奉者の「富山県」。
「山梨県」は「まつ毛」にも気を遣っている。

・スキンケア商品・化粧品の購入率を見ると、山梨県は「乳液・クリーム(72.8%)」、「美容パック(39.9%)」と保湿系商材の購入率が全国第１位。富山県は「保湿美容液(51.7%)」、「美白美容液(43.9%)」と美容液の購入率が全国第１位となった。

・さらに山梨県は、「マスカラ(56.6%)」、「まつ毛美容液(18.5%)」の購入率が全国第１位。

【オールインワンジェルの購入について】

オールチャネルで購入されているのは「沖縄県」「宮崎県」と温暖な県がトップ 2。
しかし、通販での購入に絞ると「青森県」「鳥取県」「石川県」と日本海側の県が上位に。

・チャネルを問わないオールインワン商品購入率では、
１位：沖縄県(46.4%)、第２位：宮崎県(46.0%)、第３位：秋田県(45.3%)。

・チャネルを通信販売(ネット含む)に絞ったオールインワン商品購入率では、
第１位：青森県(24.9%)、第２位：鳥取県(23.5%)、第３位：石川県(23.3%)。
第２位の鳥取県は「しわ(21.2%)」、「肌の乾燥(17.6%)」の悩み度が全国第１位。

【好きな色】

不動の人気色、47 都道府県中 43 都道府県が「ピンク」。
秋田県、福島県、兵庫県、沖縄県の４県では「ピンク」よりも「ブルー系」が好まれる！？

・ピンクを特に好む県は、第１位：鳥取県(22.4%)、第２位：奈良県(20.6%)、
第３位：香川県(19.9%)、第４位：徳島県(19.0%)、第５位：栃木県(18.6%)。

・ピンクより水色を好んだ県は、沖縄県(14.9%)と福島県(14.4%)。
またブルーを好んだ県は秋田県(14.3%)、兵庫県(13.9%)となり、ブルー系を１位に選んだ県は４県のみとなった。

【買い物意識①】

オトクな情報を見てしまうと、ついつい買っちゃう…。
通信販売での衝動買いが多いのは「福島県」「宮崎県」「富山県」「山口県」で、
「今なら●●割引！」や「タイムセール！」などのお得な言葉に弱い。
衝動買いが少なかったのが「東京都」、「福岡県」、「山形県」、「京都府」。

・「通信販売の番組や広告を見ていて気に入ったものを見つけると衝動買いしてしまうことが多い」で「YES」と回答したスコアが高かったのは、第１位：福島県(24.9%)、第２位：宮崎県(24.3%)、第３位：富山県(23.9%)、第４位：山口県(22.4%)、第５位：静岡県(21.1%)。
逆に、「NO」のスコアが高いのは、第１位：東京都(62.5%)、第２位：福岡県(59.5%)、第３位：山形県(58.2%)、第４位：京都府(58.1%)。

・さらに、上位３県は「『今なら●●割引！』や『タイムセール！』に弱い」スコアでも、第１位(富山県：56.6%)、第３位(福島県：56.0%)、第４位(宮崎県：55.6%)にランクイン。

・宮崎県は、「通信販売は趣味と言っても過言ではない(22.2%)」「広告を見て回るのが楽しい(51.3%)」が全国第１位で、通販でモノを買いやすい傾向にあると言える。

【買い物意識②】

「青森県」「高知県」「富山県」は電話嫌い！？
コールオペレーターとの会話を避けるためにネットやハガキを利用。
「東京都」や「群馬県」はコールセンターへの問い合わせを平気でこなす。

・「コールオペレーターとの会話を避けるためにネットやハガキを利用することが多い」で「YES」と回答したスコアが高かったのは、第１位：青森県(63.7%)、第２位：高知県(63.2%)、第３位：富山県(61.0%)。電話での直接の会話を避ける傾向にあるとわかった。

・それに対し、東京都や群馬県は「商品についての不明点をコールセンターやインターネットで問い合わせするなど平気でこなせる」スコアがそれぞれ 42.1%、41.6%と高かった。

【買い物意識③】

複数の化粧品ブランドを併用するのは、「高知県」！？
同じ会社から違う商品を「非常によく購入する」スコアが全国第１位。
単一の化粧品ブランドを愛用する割合が高いのが、「鹿児島県」「香川県」「愛媛県」。

・現在利用している(過去利用していた)通販会社から、それまで買っていた商品以外の別の商品を「非常によく購入する」のは、高知県が 12.6%と全国で第１位であった。

・「単一の化粧品ブランドを愛用している」のは、第１位：鹿児島県(34.0%)、第２位：香川県(33.7%)、第３位：愛媛県(31.6%)という結果になった。

《第三章　通販利用女性の実態トリビア》
調査結果の中から、通販利用女性の傾向として興味深いトリビアを紹介。

■トリビアその１

［通販オールインワンゲル(※)ユーザーは、オールインワンゲルでは物足りていない！？］

通販でのオールインワンゲル購入者の３割以上が化粧水や乳液・クリーム、美容液を購入。
さらに、年代が上がるほど、「乳液・クリーム」「保湿美容液」の購入率が高まる。

(※)オールインワンゲル＝化粧水や美容液、乳液やクリーム、化粧下地など複数の機能を集約したスキンケアジェル

通信販売(ネット含む)でオールインワンゲルを購入している女性(N=1,968)の 48.5%が「化粧水」、34.9%が「乳液・クリーム」、36.0%が「保湿美容液」を同じく通販で購入していることが判明。

さらに年代別に見ると、30～40 代と比較して、50 代・60 代・70 代以上・・・と年代が上がるほど、「乳液・クリーム」「保湿美容液」など保湿系商材の通販購入率が高くなる傾向にある。
70 代以上では約 5 割が「保湿美容液」を通販で購入。

■トリビアその２

［健康食品にお金をかける人ほど、〈機能性表示食品〉への興味関心・期待度が高い！］

健康食品の月額購入金額が 5,000 円以上の女性の
約 5 割が「興味・関心がある」、約 4.5 割が「期待している」。

		N	興味・関心がある	期待している	効果がありそう	自分の悩みを改善してくれると思う	同じ成分が入った商品なら「機能性表示食品」の商品を選びたい	(お茶等を買う時に)同じ値段なら「機能性表示食品」の商品を選びたい	(お茶等を買う時に)多少値段が高くても「機能性表示食品」の商品を選びたい
全体		10380	33.5	29.4	26.4	18.2	27.6	29.7	14.8
健食月額購入金額	５，０００円未満	4344	43.6	38.8	34.7	25.0	36.4	38.0	20.8
	５，０００円以上	773	51.1	44.9	40.2	30.8	43.1	42.2	28.1

■トリビアその３

［若年層ほど「美肌といえばコラーゲン」、高齢層ほど「関節痛対策といえばヒアルロン酸」。］

各症状・対策に対する成分純粋想率は、
年代によってもスコアが左右される。

「美肌といえば」の年代ごとのコラーゲン想起率は、30 代で 54.0%、40 代で 49.4%、50 代で 51.1%、60 代で 40.0%、70 代で 30.0%。70 代は「ビタミン C」の想起率が 15.0%と年代で最も高い。

「関節痛対策といえば」の成分想起率は「グルコサミン」(30.0%)、「コンドロイチン」(23.7%)が 2 トップだが、70 代では「ヒアルロン酸」の想起率が 13.3%と、年代で比較して最も高い。